



## 2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月5日

上場会社名 暁飯島工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1997 URL <http://www.eazima.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 俊二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括部長 (氏名) 片桐 倫明 (TEL) 029-244-5111  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年8月期第3四半期の業績 (2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	5,935	△12.3	892	△0.8	916	2.7	627	12.6
2020年8月期第3四半期	6,770	19.5	899	—	892	—	556	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年8月期第3四半期	315.74		—					
2020年8月期第3四半期	277.00		—					

(注) 2020年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率(営業利益、経常利益及び四半期純利益)は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	8,812	5,642	64.0
2020年8月期	8,795	5,119	58.2

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 5,642百万円 2020年8月期 5,119百万円

(注) 会計方針の変更に伴い、2020年8月期の各数値は遡及適用が行われております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2020年8月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 特別配当 15円00銭

## 3. 2021年8月期の業績予想 (2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	△14.4	900	△13.1	920	△11.7	650	△1.1	327.32

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、対前期増減率は遡及適用後の前期の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料10ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年8月期3Q	2,200,000株	2020年8月期	2,200,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年8月期3Q	214,205株	2020年8月期	214,005株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年8月期3Q	1,985,861株	2020年8月期3Q	2,009,931株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
3. 補足情報	11
(1) 受注及び売上の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により、依然として厳しい状況で経済活動の停滞が続いております。感染拡大防止策を講じるなかで、各種政策効果や海外経済に改善の動きが見られますが、国内外の感染再拡大による景気下振れリスクの高まりや金融資本市場の変動など先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

建設業界におきましては、政府建設投資及び民間建設投資は一定の水準を維持しておりますが、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇により受注競争が激化し、依然として厳しい経営環境が続いております。また、長時間労働等、働き方改革及び生産性向上への取り組みは業界全体での課題となっております。さらに、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないうえ、政府建設投資及び民間建設投資の動向、景気悪化による工事の中断等予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような状況のもと、当社は、経営の基本方針として「健全なる企業活動を通じ誠意を持って社会に貢献する」を掲げ、どのような環境下に置かれても、持続的発展が可能となる企業となり、株主をはじめとしたステークホルダーの期待や信頼に応えるべく、企業価値の向上に向け活動を強化しております。

また、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの諸施策を実施してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、受注高は前年同四半期比2.2%減少の53億46百万円となり、売上高も前年同四半期比12.3%減少の59億35百万円となりました。

損益面におきましては、売上高の減少などから、営業利益は前年同四半期比0.8%減少の8億92百万円となりましたが、経常利益は営業外損益の増加から前年同四半期比2.7%増加の9億16百万円となりました。最終損益につきましても、前年同四半期比12.6%増加の6億27百万円の四半期純利益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (設備事業)

設備事業の受注工事高は前年同四半期比2.2%減少の53億46百万円となりました。完成工事高は前年同四半期比12.6%減少の58億32百万円となり、営業利益も前年同四半期比1.8%減少の11億14百万円となりました。

#### (太陽光発電事業)

太陽光発電事業の売上高は前年同四半期比2.6%増加の1億2百万円となり、営業利益も前年同四半期比65.0%増加の40百万円となりました。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は前年同四半期比5.6%増加の0百万円となり、営業利益も前年同四半期比17.9%増加の0百万円となりました。

なお、各セグメントに配分していないセグメント損益の調整額は、全社費用の2億63百万円であり、主に各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間における資産は、前事業年度末に比べ17百万円増加し、88億12百万円となりました。その要因は、主に売上債権が99百万円減少したものの、現金預金が増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ5億5百万円減少し、31億70百万円となりました。その要因は、主に有利子負債が2億81百万円、未払法人税等が1億29百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ5億22百万円増加し、56億42百万円となりました。その要因は、主に四半期純利益の計上に伴う利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は、1億33百万円減少し42億53百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を計上し、売上債権が減少したことなどから5億61百万円の収入超過（前年同四半期は7億17百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出などから3億3百万円の支出超過（前年同四半期は12百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済及び配当金の支払いなどから3億91百万円の支出超過（前年同四半期は25百万円の支出超過）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年10月13日の「2020年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年7月5日）発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	4,399,951	4,566,601
受取手形・完成工事未収入金等	1,061,827	982,688
有価証券	35,415	—
未成工事支出金	81,342	101,252
その他	118,863	123,460
貸倒引当金	△14,790	△13,450
流動資産合計	5,682,610	5,760,552
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,190,089	1,190,089
減価償却累計額	△744,996	△767,441
建物・構築物(純額)	445,093	422,648
機械及び装置	459,225	459,225
減価償却累計額	△109,706	△140,639
機械及び装置(純額)	349,518	318,586
土地	1,866,005	1,866,005
その他	21,274	22,481
減価償却累計額	△17,656	△18,948
その他(純額)	3,617	3,533
有形固定資産合計	2,664,235	2,610,773
無形固定資産	16,369	16,121
投資その他の資産		
投資有価証券	331,473	369,736
繰延税金資産	49,739	14,334
その他	120,481	110,259
貸倒引当金	△69,640	△69,500
投資その他の資産合計	432,054	424,831
固定資産合計	3,112,658	3,051,725
資産合計	8,795,269	8,812,278

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,753,155	1,740,498
1年内返済予定の長期借入金	271,532	205,866
1年内償還予定の社債	100,000	80,000
未払法人税等	236,557	107,459
未成工事受入金	227,148	204,183
完成工事補償引当金	9,500	8,510
賞与引当金	110,070	34,870
役員賞与引当金	15,170	—
その他	143,533	167,591
流動負債合計	2,866,667	2,548,979
固定負債		
社債	170,000	120,000
長期借入金	540,768	394,910
退職給付引当金	95,942	102,377
その他	2,576	3,771
固定負債合計	809,287	621,058
負債合計	3,675,954	3,170,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,408,600	1,408,600
資本剰余金	26,039	26,039
利益剰余金	3,855,838	4,373,618
自己株式	△189,069	△189,069
株主資本合計	5,101,408	5,619,189
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,906	23,051
評価・換算差額等合計	17,906	23,051
純資産合計	5,119,315	5,642,240
負債純資産合計	8,795,269	8,812,278

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	6,670,011	5,832,801
その他の事業売上高	100,320	102,969
売上高合計	6,770,332	5,935,770
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	5,394,939	4,577,718
その他の事業売上原価	75,111	61,552
売上原価合計	5,470,051	4,639,271
<b>売上総利益</b>	1,300,281	1,296,499
<b>販売費及び一般管理費</b>		
従業員給料及び手当	184,661	183,474
賞与引当金繰入額	12,670	13,660
退職給付費用	8,248	9,080
貸倒引当金繰入額	△3,860	△1,340
その他	198,739	199,152
販売費及び一般管理費合計	400,459	404,027
<b>営業利益</b>	899,821	892,471
<b>営業外収益</b>		
受取利息	1,580	17
受取配当金	3,730	3,391
投資有価証券売却益	1,701	9,391
投資有価証券償還益	4,371	—
仕入割引	630	775
受取地代家賃	6,567	6,624
貸倒引当金戻入額	4,200	10
受取損害保険金	—	15,780
その他	5,486	7,328
営業外収益合計	28,269	43,318
<b>営業外費用</b>		
支払利息	12,914	8,669
有価証券償還損	—	1,011
有価証券評価損	10,783	—
投資有価証券売却損	3,635	8,868
投資有価証券評価損	3,346	—
その他	4,922	709
営業外費用合計	35,602	19,258
<b>経常利益</b>	892,488	916,531

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
<b>特別利益</b>		
国庫補助金	—	1,555
有形固定資産売却益	114	—
特別利益合計	114	1,555
<b>特別損失</b>		
有形固定資産除却損	90	—
固定資産圧縮損	—	1,555
投資有価証券評価損	53,221	—
会員権評価損	2,000	—
特別損失合計	55,312	1,555
税引前四半期純利益	837,291	916,531
法人税、住民税及び事業税	272,532	256,268
法人税等調整額	8,003	33,253
法人税等合計	280,536	289,521
四半期純利益	556,754	627,009

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	837,291	916,531
減価償却費	64,334	60,006
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,060	△1,480
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	1,030	△990
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49,371	△75,200
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,060	△15,170
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,851	6,434
受取利息及び受取配当金	△5,311	△3,408
支払利息	12,914	8,669
有価証券償還損益 (△は益)	—	1,011
有価証券評価損益 (△は益)	10,783	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,934	△522
投資有価証券評価損益 (△は益)	56,567	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	△4,371	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△114	—
国庫補助金	—	△1,555
有形固定資産除却損	90	—
固定資産圧縮損	—	1,555
会員権評価損	2,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	289,271	99,226
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	74,253	△19,909
仕入債務の増減額 (△は減少)	△106,579	△12,657
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△177,928	△22,964
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,363	△33,087
その他	5,694	38,633
小計	1,001,584	945,123
利息及び配当金の受取額	5,302	3,404
利息の支払額	△12,872	△8,715
法人税等の支払額	△276,288	△378,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	717,725	561,775
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△1,515	△1,207
有形固定資産の売却による収入	174	—
無形固定資産の取得による支出	△3,500	△6,502
投資有価証券の取得による支出	△130,207	△170,679
投資有価証券の売却及び償還による収入	121,826	174,559
その他	699	263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,522	△303,566

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△80,000	—
長期借入れによる収入	470,000	—
長期借入金の返済による支出	△299,712	△211,524
社債の発行による収入	100,000	—
社債の償還による支出	△80,000	△70,000
自己株式の取得による支出	△43,688	—
配当金の支払額	△91,752	△110,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,153	△391,559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	680,049	△133,350
現金及び現金同等物の期首残高	3,731,587	4,386,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,411,636	4,253,601

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(費用計上区分の変更)

当社は、第1四半期会計期間から、従来完成工事原価で処理していた技術部門について、販売費及び一般管理費で処理する方法に変更しております。経営環境の変化に迅速に対応するため、当事業年度期首から営業部門及び施工部門をサポートする管理体制の強化を目的として、組織体制を変更しております。この変更の過程において、当社の費用の発生状況と工事収益との関連を明確に反映させることがより有用な情報開示に資すると判断し行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については遡及適用後の財務諸表となっております。この変更により、前事業年度の貸借対照表は未成工事支出金が1,585千円減少しております。また、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書は完成工事原価が52,850千円減少し、販売費及び一般管理費が55,491千円増加することにより、営業利益、経常利益、税引前四半期純利益及び四半期純利益がそれぞれ2,641千円減少しております。

前第3四半期累計期間の四半期キャッシュ・フロー計算書は、税引前四半期純利益及び未成工事支出金の増減額がそれぞれ2,641千円減少しております。

なお、前事業年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期期首残高は3,112千円減少しております。

## 3. 補足情報

## (1) 受注及び売上の状況

## ①受注実績(累計)

区分	前第3四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (2020年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	3,260,013	59.6	3,246,810	60.7	△13,203	△0.4	4,255,363	56.0
リニューアル工事	1,919,733	35.1	1,810,624	33.9	△109,108	△5.7	2,996,616	39.4
土木工事	—	—	—	—	—	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	286,335	5.2	289,444	5.4	3,108	1.1	347,850	4.6
設備事業合計	5,466,081	100.0	5,346,878	100.0	△119,202	△2.2	7,599,830	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②売上実績(累計)

区分	前第3四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (2020年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	3,051,732	45.0	2,966,907	50.0	△84,825	△2.8	3,743,349	44.5
リニューアル工事	3,356,045	49.6	2,615,443	44.1	△740,601	△22.1	4,179,558	49.7
土木工事	—	—	—	—	—	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	262,234	3.9	250,450	4.2	△11,783	△4.5	350,005	4.2
設備事業合計	6,670,011	98.5	5,832,801	98.3	△837,210	△12.6	8,272,913	98.4
その他の事業								
太陽光発電事業	99,420	1.5	102,019	1.7	2,598	2.6	136,930	1.6
不動産事業	900	0.0	950	0.0	50	5.6	1,200	0.0
その他の事業合計	100,320	1.5	102,969	1.7	2,648	2.6	138,130	1.6
合計	6,770,332	100.0	5,935,770	100.0	△834,561	△12.3	8,411,043	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。